

中学校 2 学年

学習指導要領 中学校理科 第2分野 (4) 気象とその変化 ウ 日本の気象
(ア) 日本の天気の特徴単元名等 学校図書2年「天気とその変化」 3章「日本の天気」
2「日本の四季の天気を調べよう」春の天気 p220

teitenを活用した指導の内容

teitenが記録した画像により、

春は、シベリア気団の勢力が弱まり、中国大陸上に暖かく乾燥した空気をともなる移動性の高気圧が発生し、日本にやってくる。

この高気圧に日本がおおわれている間は、おだやかで暖かい天気が続く。しかし、西から低気圧が近づいてくると、天気はしだいにくもりに変わり、雨となる。

このように、移動性高気圧と低気圧が交互に西から東に移動して日本を通過していくため、晴れと雨の天気が、4～5日の周期でくり返されることが多い。

天気図や気象衛星画像などから、日本の天気の特徴を気団と関連付けてとらえること。

春の天気



移動性高気圧が東の海上に出て、西から低気圧が発達しながら日本を通過している。(2006年4月5日9時)

teitenを活用した場合に期待される主な効果

○教科書の事例に加えて、teiten2000が設置された身近な観測ポイントにおける画像を使用し、春の天気の特徴について、具体的な現象に気づかせやすくなる。

その他

※サンプル教材では、長野県松本市の画像を用いているが、全国19カ所の地点で教材を作成することが可能である。